

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みかんキッズ		
○保護者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年12月2日		～ 2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの話を真摯に受け止め、できる限りの対応をしている。	保護者からの意見や要望に対し、柔軟に対応するよう意識している。	引き続き、対応の質を向上させるため、定期的なフィードバックの機会を設ける。
2	スタッフ間の連携が取れている。	日々のミーティングや記録共有を通じて情報を共有している。	さらなる連携強化のため、定期的な振り返りや意見交換の場を設ける。
3	スタッフ1人1人が安全面に対して意識して支援にあたっている。	日頃から気づきや改善点について、職員同士で意見を出し合い、共有している。	事故防止に向けた研修やケーススタディを取り入れ、安全意識をさらに向上させる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ間での研修や勉強会の機会が少ない。	業務の合間に時間を確保するのが難しい。	短時間の研修を定期的にも実施し、オンライン研修の活用も検討する。
2	地域の他機関との連携が十分ではない。	交流の機会が少なく、情報共有が難しい。	関係機関との情報交換の場を設け、合同研修やミーティングを実施する。
3	保護者同士の交流機会が少ない。	忙しさやタイミングが合わず、交流の場が設けにくい。	定期的な保護者交流会を企画し、オンラインなど柔軟な方法で実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		みかんキッズ		公表日		2025年2月28日		
		利用児童数		30		回収数 28		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27			1	適切だと思う	今後も継続していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	1			職員1人でこども2人をみると聞いているので適切だと思う。 職員紹介の冊子は配布されるので在籍者の把握はしている。 配置数までは知らない。	見学・契約時に配置数の説明を継続して行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	23	4		1	急な階段がある	安全に配慮し昇降するよう職員・こどもに声をかけし、降りの際は必ず手をつなぐよう徹底している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	27	1				今後も継続していく。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	6			十分に理解し対応してもらっている。 常にSTの先生がいてほしい。	言語聴覚士の在籍はあるが月に数回である。求人情報を継続して実施する。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		5		今後も継続していく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	2			こどもと保護者のニーズや課題の沿った支援内容は設定されている。 内容に具体性が欲しい。	さらに保護者様の希望を聞き取り、具体的な内容を計画に反映できるよう努める。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1		1		今後も継続していく。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27	1				今後も継続していく。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2		1		今後も継続していく。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2		11	利用している曜日では交流がない。活動内容によっては買い物に連れて行ってかれる。	園交流は実施できていないため、今後交流できるよう検討する。戸外活動や市の催し物に参加することは継続して実施する。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	1				今後も継続していく。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27		1			今後も継続していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	2	10	通う出してまだ数か月なのでまだ案内されたことはない。	必要に応じて実施している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24	3		1	その日の担当の先生によってバラツキがある。連絡帳に書いて内容についてラインで返信してくれる。連絡帳に写真を貼られているのがわかりやすく良い。ラインがあるのがありがたい。	職員間での情報共有や伝達を継続して実施する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	1	1	3	いつでもラインで気軽に相談できてありがたい。定期的には無いが相談したら答えてくれる。	必要に応じて実施している。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2				今後も継続していく。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2	3	8	両親ともに参加できるようにしたい。 親子参加のイベントがある。	事業所のスペースや感染症対策のため現在は参加人数を限定して実施している。開催場所等も含め今後の実施内容を検討する。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		5	連絡帳があるので気になることがあれば書きやすい、ラインで相談しやすいしその後の対処もすぐしてくれる。	今後も継続していく。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24	3			連絡帳やラインに限らず送迎時も直接伝えてくれるのでありがたい。	連絡帳やラインに限らず、送迎時の口頭での伝達も引
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	1	2	毎月書面でもらっている。	今後も通信やホームページ等での発信を継続する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1		2		今後も継続していく。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		1	発生を想定した訓練の実際の有無まで知らない。	月に1回、発生を想定した訓練を実施している。連絡帳で実施した旨を継続して伝える。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	1		6	利用が少ないため参加できる時が少ない。	同上。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	2	1			今後も継続していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	5			電話ですぐ繋がらなかった場合はラインですべてもらえたらなおよい。	緊急時は電話やラインですぐに連絡をとるように引き続き努める。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28				いつも楽しかったと帰ってくる。初めから泣くことなく安心して思う。帰りの送迎で職員に抱かれて寝ている姿を見ると安心感を持って通えていると実感できて嬉しい。	電話ですぐにつながらなかった場合は、ラインでも対
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	26	2			いつも楽しかったと帰ってくる。初めから泣くことなく安心して思う。帰りの送迎で職員に抱かれて寝ている姿を見ると安心感を持って通えていると実感できて嬉しい。	今後も継続していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	0			とても満足している。外遊びが多く道具で遊ぶことが上手になった。椅子に座る時間が増えて満足している。	今後も継続していく。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		みかんキッズ		公表日		2025年2月28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	主で過ごす広いスペースの部屋がある、中スペースの部屋でグループ活動が実施でき静養室としても使用可、専門職が個別支援できる小スペースの部屋もある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		常勤で作業療法士、児童指導員、幼稚園教諭、保育士を配置。おこさま2人に対して職員1人を配置。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	絵カードやスケジュールを用いて構造化している。	階段が急で入口が1つしかないため安全に留意し支援を実施している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	掃除は毎日実施している。 空気清浄機・加湿器を稼働している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	チェック項目1と同様。	物置が少ないため、個別支援の部屋が物品で溢れやすい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		常勤職員とは頻繁にできているが月数回勤務の職員へは不十分。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	毎年検討し改善している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	コミュニケーションが取りやすく働きやすい環境・関係性を築くよう努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	4	会社内の研修は必ず案内している。	研修はあるが全員が受講することが難しい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	職員間で話し合い実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		引き続き実施していく。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2		こどものことは1番に考えているが作成する職員に負担がかりすぎている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1	おこさま一人ひとりの個別記録に計画を更新する度に差し替えて共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		引き続き実施していく。		

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		引き続き実施していく。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	可能な限り実施している。	各職員の勤務時間がバラバラのため打合せが難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4	同上。	振り返る時間が少ない。 非常勤のためその時間をもつことが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		引き続き実施していく。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	おこさま一人ひとりに半年に1回モニタリングを実施している。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	おこさま一人ひとりの成長過程を見ながら移行支援を実施している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		見学に来ていただいた際は実施している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	交流はできていないが地域の催し物には参加している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		引き続き実施していく。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4	個別に対応している。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に必ず行なっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		引き続き実施していく。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		引き続き実施していく。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		引き続き実施していく。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4	親子参加の行事を開催し、そこでの交流機会を支援している。	開催場所（主に事業所内）のスペースや感染対策の関係上、きょうだい児を主軸にした交流はできていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		引き続き実施していく。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		引き続き実施していく。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		引き続き実施していく。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		引き続き実施していく。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5	地域の公園等で活動し、お話しする機会はあ る。市内ボランティアサークルの方に来ていただき絵本や 紙芝居の読み聞かせをさせていただいている。	開催場所（主に事業所内）のスペースや感染 対策の関係上で公にできていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	発生を想定した訓練は毎月実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2	同上。	避難道具の使用方法がわかりにくい。 消防局からの指導も実施してほしい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		引き続き実施していく。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		引き続き実施していく。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		引き続き実施していく。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		引き続き実施していく。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		引き続き実施していく。		